

# The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

February  
ISSUE



February, 2024  
Volume 142

## 5年前の1年生

早いもので、今年度もあと2か月を残すところとなりました。思い起こせば、昨年4月から教頭という新しい仕事をする事になり、怒涛の毎日を通しながらも、保護者様をはじめ皆様のお支えにより、何とか乗り切ってこられていると思います。本当に感謝申し上げます。

さて、来月はいよいよ卒業式、修了礼拝と、1年間の締めくくりの行事があります。特に卒業式は、小学校6年間の教育課程を終えたという人生の節目の日でもあります。

今の6年生は、私が学級担任としてお迎えした学年です。当時の1年2組の子どもたちとは、6年生になった今でも声をかけてくれたり、ハイタッチしたり、相談ごとをしてくれたりと、5年が経過したにもかかわらずとても懐いてくれていて、本当にありがたく思っています。

久々の1年生を担任することになった5年前、学校のできごとや保護者様へのお知らせなどをどうお伝えしようかと考えました。1年生はまだ文字を学習していない前提ですから、全員が連絡帳を書けるわけではありません。そこで、私が毎日、手書きでノートに連絡事項を書いたものをコピーして、子どもたちの連絡帳に貼り付けて持って帰ってもらいました。

そこには毎日の宿題や次の日の持ち物の他、クラスの様子、登下校の様子、保護者様へのお願いなど、私の独断と偏見で書き綴っておりました。

当初は、連絡帳の書けない1年生のためにという目的で始めたのですが、子どもたちが連絡帳を書くようになった秋学期以降も、今度は私の方が止められなくなってしまい、宿題や持ち物は子どもたちが自分で連絡帳に書く一方で、その他の連絡や担任の思いなどを綴っておりました。

読み返してみますと、クラスで今日あった出来事だけでなく、忘れ物や提出物の期限など、愚痴に近いようなことも書いていて、保護者の皆様には大変失礼なことも書いておりました。この場をお借りしまして、お詫び申し上げます。

しかしながら、1年生を担任する上で気を付けるべき点や忘れてはならない点など、多くのことが詰まっています。私にとってとても大切な「宝物」になっています。

現在の6年生、5年生、4年生と、3年間続けて1年生を担任させていただきました。どの学年、子ども達も立派に成長しています。6年生はいよいよ卒業。私にとってはとても寂しいですが、これからの長い人生、常に希望をもって歩いていってほしいと思います。

教頭 風間 寛



## キリスト教教育

### 2月：愛 February：Love

「彼が担ったのは私たちの病 彼が負ったのは私たちの痛みであった。…」

(聖書協会共同訳 イザヤ書 53 章 4 節)

今回の冬は年末に一度、そして年が明けるとまもなくもう一度と、二度も強い風邪をひいてしまいました。何れも高めの熱が出たので近所の診療所を受診したのですが、インフルエンザも新型コロナも流行っている昨今のこと、疑わしき患者は一般の患者と診察時間がきっちりと分けられ、私が受診できたのは二回とも晩方の時間帯でした。診察室に入るとお医者さんも看護師さんもまるで手術室のような防護服で身を固めておられて、なるほどこれならめったなことでは患者から感染することはなかろう、と思われました。

ところが二度目に受診したある日、私は問診を受けながら、お医者さん自身が時々風邪のような咳をしておられることに気が付きました。もちろん依然として重装備でおられたので、こちらは何の心配もしませんでした。こんなに毎日気を付けて仕事に当たっておられてもそこは生身の人間、風邪をひく時はひいてしまうのだと妙に感心してしまったのでした。

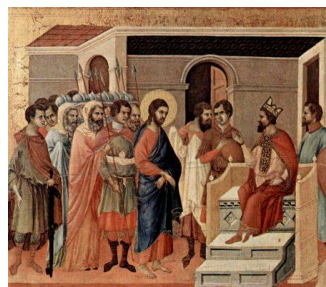
最近実母が入所した老人ホームでコロナ患者が数名出たようなのですが、その中には入所者ばかりでなく介護士さんも混じっていました。最初聞いた時は少し驚きましたが、考えてみれば普通のことかもしれません。病院や施設で感染者が出たと聞くと、我々が真っ先に思い浮かべるのは入院患者や入所者のことです。医師や看護師や介護士などは彼らを養護する立場の人々であるので、無意識に感染者からは除外して考えてしまいがちです。でもたとえ護る側の人々であっても、人間である以上は心身が弱る時もあり、ウイルスが相手の職業を見て手加減してくれるわけではありません。医療従事者と呼ばれる人々は皆、自身も弱い肉体を抱えながら、専門的知識を蓄えて様々な訓練を積むことでほんの少しだけ他の人々より優位に立ち、治療に貢献する仕事をおられるのだと思います。

上掲の聖書箇所は「メシア預言」で、キリスト教ではイエス・キリストを指し示す重要な箇所として読み継がれてきました。

「彼は軽蔑され、人々に見捨てられ 痛みの人で、病を知っていた。人々から顔を背けられるほど軽蔑され 私たちも彼を尊ばなかった。彼が担ったのは私たちの病 彼が負ったのは私たちの痛みであった。しかし、私たちは思っていた。彼は病に冒され、神に打たれて 苦しめられたのだと。…彼が受けた懲らしめによって 私たちに平安が与えられ 彼が受けた打ち傷によって私たちは癒やされた。…」(イザヤ書 53 章 3-5 節)

救い主は決してスーパーマンなどではなく、神通力か何かで自分の痛みや苦しみを感ぜないようにしてから十字架に掛けられたわけではないのです。神の子でありながらも、あくまでも「人の子」として地上を歩み、最後まで人の痛みや苦しみに寄り添って生きてくださった方なのであります。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓



“Jesus at Herod’s Court (1308-1311)”

Duccio di Buoninsegna

<お知らせ>

・2月の「おにぎり献金」は、2月13日(火)です。

※今年度のおにぎり献金は、岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「このとりのゆりかご」、日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「トルコ・シリア大地震」を覚えて、献金を募っています。賛同していただける方は、お子様に献金をお持たせください。

なお、その後「ガザ人道危機」や今年元日に起こった「能登半島地震」など、覚えるべき被災地は年々増えています。年度ごとに支援先を更新し、祈りつつ献金を捧げていくことにご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

## 4年生 2分の1成人式

1月22日(月)4年生は2分の1成人式を行いました。20歳を成年年齢としてきた日本では、満20歳を迎えた成人を対象に、地方自治体などで成人式(成年式ともいわれる)が実施されています。「2分の1成人式」は、成人の半分である10歳に達した子ども達が、自分たちを育ててくださった保護者の方々と一緒に祝う会のことです。(2022年4月より、成年年齢は18歳に引き下げられましたので、今後は実際には9歳になるのかもしれませんがね。)

当日の会の内容は3部構成となっていました。



まず、体育館で親子楽しく遊ぶゲーム、そしてきずなホールで成人した自分へのメッセージを作る(保護者の方からのメッセージも)最後にチャペルで、事前に保護者の皆さんが送ってくださった子どもたち全員の「2歳と6歳の写真、そして今の子ども達が将来の夢を英語で語る動画」の鑑賞会をしました。子ども達の成長の様子を鑑賞していて思わず感極まって涙される保護者の方もおられました。

(恥ずかしながら担任の私自身もその一人でした。)

それで終了・・・ではなく、最後に子ども達が保護者の方に秘密で準備してきた歌と手紙のプレゼントをしました。

2分の1成人式が、子ども達の健やかな成長を保護者の方々と一緒に喜ぶ会となり、参加してくださった保護者の方々にとって、そして何より子ども達の心に残る会となっていただきたいと思います。

準備を進めてくださったクラスマザーの皆さんをはじめ、お忙しい中参加してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。





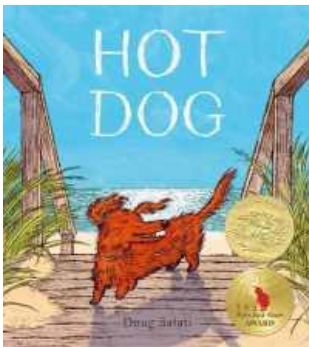
# からのおしらせ

## コールデコット賞受賞作品

アメリカで出版された絵本の中で、もっともすぐれた作品の画家に対して年に一度贈られる「コールデコット賞」を受賞した絵本が多数図書館に入荷いたしました。邦訳されているものもございますので、ぜひ併せてお読みくださいませ。

### 『Hot Dog』 Doug Salati/作 Alfred A. Knopf 出版

※邦訳版は近日図書館に入荷予定



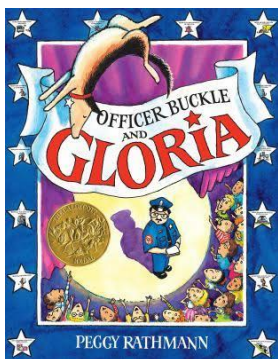
うだるような暑さの夏の大都市。普段であれば楽しいお散歩タイムですが、この暑さにホットドッグ似の犬もギブアップ、もうバテバテ。そこで飼い主の女性が取った行動は…。夏のけだるさや避暑地の爽快感を見事に描いた絵本。

2023年コールデコット賞、エズラ・ジャック・キーツ賞の2冠受賞絵本。

### 『Officer Buckle and Gloria』 Peggy Rathmann/作

G. P. Putnam's sons 出版

### 『バックルさんとめいけんグロリア』 ひがしはるみ/訳 徳間書店



おまわりさんのバックルさんが、学校をまわって安全のためのひとくちメモを話してきかせても、子どもは、だれも聞いていません。みんな、すっかりあきています。ところが、警察犬のグロリアが来てから、すっかりようすがかわってしまいました…かしこい犬のグロリアとやさしいおまわりさんのバックルさんがまきおこす、ゆかいなものがたり。1996年コールデコット賞受賞作。

### 『その絵ときたら!』 ミシェル・マーケル/作

福本友美子/訳 ほるぷ出版



米国で毎年、その年に出版された、もっともすぐれた絵本の画家におくられるコールデコット賞は、ある画家の名前を冠した絵本賞です。その画家とは、ランドルフ・コールデコット。19世紀絵本の巨匠で、生き生きと動きだしそうな絵で大人気となりのちのちの作家たちにまで影響をあたえました。いったい、どんな人物だったのでしょう。19世紀絵本の巨匠の伝記絵本。

## 2月の主な行事・予定

1	木	G6 Exhibition G5 国際中見学/Visit to the Doshisha International Junior High School (PM)
2	金	G6 Exhibition
3	土	
4	日	
5	月	Unit6(week3)
6	火	
7	水	委員会活動/Student committee
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日/ Japan's foundation Day
12	月	振替休日 / Substitute Holiday
13	火	Unit6(week4)
14	水	クラブ活動 club activity G5 Guest teacher
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	Unit6(week5)
20	火	IB Verification Visit
21	水	クラブ活動 club activity IB Verification Visit
22	木	IB Verification Visit
23	金	天皇誕生日/ Emperor's birthday
24	土	
25	日	
26	月	Buffer week
27	火	
28	水	
29	木	

## 3月の主な行事・予定

2日(土)	土曜参観・学級報告会
8日(金)	震災を憶える礼拝
13-14日(水・木)	学期末カンファレンス
15日(金)	卒業式
19日(火)	終業礼拝 (午前授業)



大谷翔平選手から  
グローブが届きました!